まえがき

「スケボーめっちゃ楽しい！！！」
心からそう叫んでしまいたくなる。
いや、しょっちゅういろんな人にそう話しているかな……。

でも大抵の人は
「？？？？？」
「この子大丈夫？」
と不思議そうな顔をされます。

「スケボーやりたい！」

毎日どうしたらスケボーやる時間ができるのか考えて過ごしています。

子どもの習い事のお迎えにいく前の10分ならできる。
子どもが習い事している間にやろう。
一人でやっていると恥ずかしいので次男を連れて行こう。

仕事もして、子育てもして、家事もして……。
とにかく自分の時間を作ることがとても大変なのですが、でも、「好き」ってパワーはすごいもので、どうにかやりくりをして時間を作りだすものです。

私はトレーニングをマンツーマンで指導する「パーソナルトレーナー」をしているのですが、クライアントの皆様は決まって「時間がないのです」と言います。

確かに普通に生活をしていたら時間はありません。

でも、本気で取り組むものがあれば、自らなんとしても時間って作りだすものなのだなと今は感じています。

午前中仕事に行く前に2時間くらい時間があれば自転車で30分のところにあるスケートボードパークに行って開店と同時に行き、1時間やったら速攻帰ろう。

気づけば、ちょっとの隙間時間も無駄にしないためにスケジュールはスケボーを中心に考えてしまうほどスケボーＬＯＶＥな日々になっていました。

そうなると、不思議なことで「時間って意外とある」と、今までは毎日の生活を送るだけで精一杯でしたが、時間のやりくりを考え、段取りよく物事を進めてみると気づくことも多く、気持ちよく暮らせています。

自分の好きなことをやっているので家事も子育てもやらされている感じがなくなり、心にも余裕が生まれたようにも思います。

毎日の生活で嫌なことがあっても、スケボーをやっていると無心になって他のことは全く考えないので、終わってみると「まあ、どうにかなるかな」と気分がスッキリしたりもします。

一方で無心にならない（中途半端だ）と、転んで大ケガし、痛い思いをしてしまうので、スケボーにだけ集中せざるを得ないと言った方が正しいのかもしれません。

その無心になる、集中する時間がとても気持ちがよいです。

そして、風を切ってスケボーでプッシュ[※1]している時も、「自分が風になって自由にどこまでもいけるのではないか？」という気持ちにもなれる、あの感覚もたまらないです。

何度も何度も失敗し、転んで痛い思いをしたり、恐怖心から身動きとれなくなったり、悔しい気持ちにもなったり……でも諦めず立ち向かい、練習してメイクできた瞬間はエクスタシー満載で最高です。

※1　プッシュ……スケボーの技の名前

まるで子どもの頃に戻ったように心が大はしゃぎします。

「やったーーーーーーーーーー！！！！！」

って飛び跳ねたくなり思わず声も出ちゃうぐらいです（いや、出しています）。

インターフェイキー[※2]は一度派手にコケて顔を床で打ってしまい、その時の恐怖。また顔を打って顔に傷がついたらどうしようか、とか痛い思いもしたので怖くなってしまい、その気持ちに打ち勝つのに相当時間がかかってしまいましたが、諦めず何度もトライし、メイクした日の夜は嬉しすぎて寝られなかったぐらいです。

「世の中にこんなに楽しいものがあったとは！」

「45年も生きてきて、まだまだ知らないことがあって、それをこの年で知ることができた」

この感覚（体験）は年を重ねるとなかなか遭遇すること自体難しいのではないでしょ

※2　インターフェイキー……スケボーの技の名前

うか？

スケボーと出会う前は「スケボーやってる。へーカッコイイね」ぐらいにしか思っていませんでしたが、今ではスケボー上手な方を見ると「尊敬します！」とものすごくリスペクトしちゃいます。

イメージの話をすると、以前はスケボーやっている方＝ちょいわる男？　女？　みたいなイメージも少しありましたが、今では「とんでもなく努力家の塊ではないか！」とガラリと印象も変わりました。

スケボーは生半可な気持ちでは上達できないスポーツだと私は思います。

だからこそ、今ではスケボーやっている人は「みんないい人！」に見えちゃうぐらいです。スケボーのない人生なんて今では考えられません。

スケボーは楽しいだけではなく、子育て上での色々な悩みや不安、どうやって子どもと向き合い大切なことを伝えたらよいのだろうか……と思い悩んでいた私に少し、解決への一本の光を導いてくれました。

「私は子どもに何をしてあげられるのか？」
「何をすべきなのか？」

スケボーと出会う前は、行き先もゴールもない、真っ暗闇の中をさまよい歩いているような気持ちで「子どもを育てるのが責任だ」と『責任感』だけで子育てをしていました。

それは、誰かに追われ、世間の目に監視されているような気持ちで、子育てを心から楽しめないでいたところもありましたが、スケボーを通して学んだこと（経験したこと）で子どもを育てる勇気も湧いてきた気もしています。

「子育てって楽しい！」

スケボーは自分の成長だけではなく、子どもの成長や強くなっていく姿もプレゼントしてくれるスポーツです。何より自分がイキイキと「人生を楽しみ笑顔で毎日を送れる！」。これ以上に子どもに生きる楽しさを伝える方法はないとも思います。

もし、今私と同じように子育てに悩み、楽しめない、将来が不安だ、と感じる同じママさん達がいるとしたら、スケボーこそがその迷宮から抜け出すヒントだと私は思います。

そして、少しでもその不安から開放されるママさんがいれば嬉しく思います。

本書では45歳でこんな素敵な人生を変えるほど没頭できるものに出会えた『運命的な出来事』をご紹介させていただきます。

本書を通じて、今ある「悩み」や「現実」に対する『固定概念』を吹き飛ばす（飛び越える）きっかけとなっていただければ幸いです。

45歳2児の母がスケボーと歩む物語の始まりです。

45歳2児の母
竹内しのぶ

ANAP